

## Press Release

報道関係各位

2025年12月9日

### ウォルターズ・クルワー、CCH Tagetik が新 SSBJ サステナビリティ開示基準に完全準拠したことを発表

医療、税務・会計、法務・規制、企業パフォーマンスおよびESG領域において、専門家向けの情報・ソフトウェア・サービスを提供するグローバルリーダー、ウォルターズ・クルワーは、このたび [CCH Tagetik](#) が日本の新たな [サステナビリティ基準委員会（SSBJ）](#) による開示基準に完全準拠したことを発表しました。

SSBJ は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が策定した IFRS サステナビリティ開示基準との整合を図り、日本企業のサステナビリティ報告の国際基準への適合を目的としています。日本では、SSBJ 基準に基づく開示が、2027年3月期決算から時価総額3兆円超の企業に対して義務化され、その後段階的に対象が拡大される予定です。

ウォルターズ・クルワー CCH Tagetik 日本プリセールスディレクター 小口尋之は次のように述べています。

「今回の開示基準は、企業のサステナビリティ経営において極めて大きな変革をもたらします。開示範囲の拡大や要件の高度化により、報告プロセス全体が根本的に変わりつつあり、CCH Tagetik の高度な ESG 機能を活用いただく絶好の機会に *canva* なると考えています。」

日本企業においては、新基準への対応に向けた早期の体制構築が重要となっています。サステナビリティ報告に対する社会・投資家からの期待は高まっており、任意開示から規制遵守へとパラダイムが移行しています。

CCH Tagetik は、ESG情報を「経営判断に活用できるデータ」として再構築し、コンプライアンス対応と価値創造の両立を支援します。これにより、ESGデータを事業戦略や投資判断に結びつけることが可能になります。CCH Tagetik は SSBJ 基準に完全準拠しており、ESG開示ツールにとどまらず、企業全体のマネジメント基盤として設計されています。財務・非財務データの一元管理、KPI 計算の自動化、入力値のバリデーションにより、高品質で監査対応可能な開示を実現します。

SSBJ 基準への取り組みを進める企業に対し、CCH Tagetik は複雑な組織モデルにも対応する統合されたワークフロー、高品質なデータ基盤、そして先進的なサステナビリティ管理を支える強固なプラットフォームを提供します。これにより、ESG開示は単なる業務負荷ではなく、企業価値創造と持続的成長の起点へと進化します。

#### ウォルターズ・クルワーについて

[ウォルターズ・クルワー](#) (EURONEXT: WKL) は、医療、税務・会計、ガバナンス、リスク管理とコンプライアンス、法務・規制、経営管理・ESG の各分野における専門情報、ソフトウェアソリューションとサービスのグローバルリーダーです。深い専門知識とテクノロジー・サービスを組み合わせた専門的ソリューションを提供することで、お客様が日々重要な意思決定を行えるように支援しています。

ウォルターズ・クルワーは、2024年に59億ユーロの年間売上高を計上しました。同グループは180カ国以上の顧客にサービスを提供し、40カ国以上で事業を展開、全世界で約2万1600人を雇用しています。本社はオランダのアルフェン・アン・デン・レインにあります。

詳細はWebサイトやSNSから入手ください。

CCH Tagetik 詳細：<https://www.wolterskluwer.com/ja-jp/solutions/cch-tagetik>

LinkedIn：<https://www.linkedin.com/company/tagetik-japan/>

#### 本件に関するお問合わせ先

ウォルターズ・クルワー CCH Tagetik (Tagetik Japan 株式会社)

広報担当 東條 奈穂子

TEL: 03-4588-6474 (代表)

E-mail: [japan@tagetik.com](mailto:japan@tagetik.com)